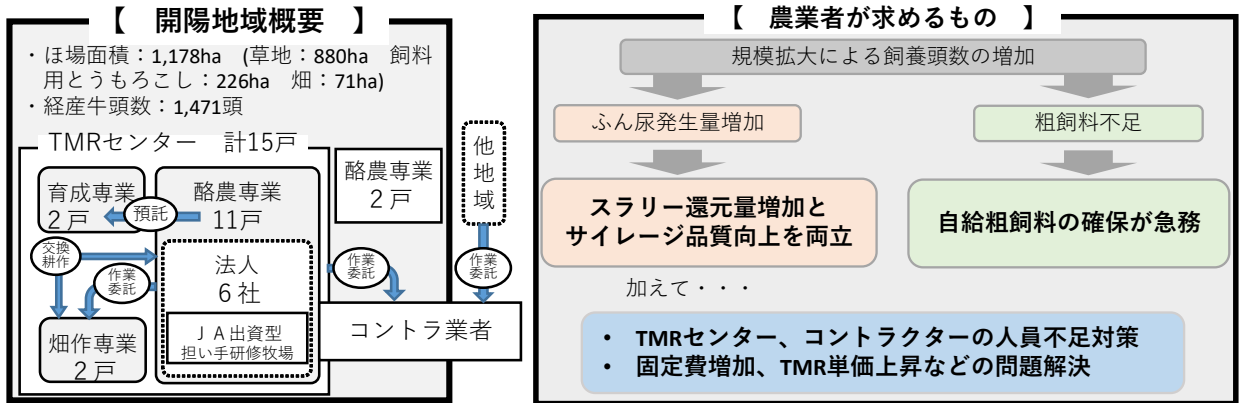


# TMRセンターの課題解決による地域生産力の維持・向上

(中標津町開陽地域)

## 1 課題の背景



## 2 活動の経過



### 3 活動の成果\*\*\*\*\*

(1) TMR単価の安定化

**スラリー散布のガイドライン作り**

分析値を基にしたふん尿の散布

地域のスラリーを分析し、散布時期の成分量を把握


早春スラリー散布におけるガイドラインが完成

適期散布時、散布遅れ時それぞれの最大散布量と、収穫・サイレージ調製時の注意点を理解し実行


**人員を確保し、適期に適量を散布するよ**

サイレージ品質の向上

収穫・調製作業中に土が混入する原因と対策方法を整理



スラリー分析



TMRセンター構成員

購入粗飼料費を低減

自給粗飼料の増収対策

**自給粗飼料の増収対策**


休閒地を活用した牧草大麦同伴栽培

休閒地 41ha で実施し粗飼料を確保


採草地の単収向上対策を調査・実証・提案

以下の項目について調査・実証・提案を行った

- ・草地の生育不良部分の原因と影響度
- ・融雪材の生育促進効果
- ・牧草株数確保のための施肥法



牧草大麦同伴栽培



牧草の生育不良部分

(2) 人が定着するための仕組み作り

**標準作業工程の確立**

	4月			5月			6月			7月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
作業時期			①ふん尿散布		②播種床造成	③播種・鎮圧						
作業風景												

農業者と共に栽培管理表と作業工程管理表を作成

TMR センターの若い構成員が積極的に関わるための新しいプラットフォームが完成

### 4 今後の活動\*\*\*\*\*

- (1) TMR単価の安定化
  - ・地域全体のスラリー発生量予測に基づいた、年間スラリー散布計画の作成支援
  - ・TMR単価の構成要素分析と安定化に向けた提案
- (2) 人が定着するための仕組み作り
  - ・作業工程管理表に基づく作業の見直し

- 9 -